

平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ウィザス
 コード番号 9696 URL <http://www.with-us.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 生駒 富男
 (氏名) 井尻 芳晃

TEL 06-6264-4202

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,056	6.6	552		553		344	
23年3月期第1四半期	2,868	15.1	454		482		660	

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 315百万円 (%) 23年3月期第1四半期 615百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	34.23	
23年3月期第1四半期	65.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	14,103	3,961	27.3
23年3月期	15,245	4,387	28.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,843百万円 23年3月期 4,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		5.50		10.00	15.50
24年3月期					
24年3月期(予想)		5.50		8.00	13.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,131	5.9	132		97		181		18.00
通期	15,979	6.9	1,079	12.4	1,056	11.6	400	68.1	39.78

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	10,440,000 株	23年3月期	10,440,000 株
期末自己株式数	24年3月期1Q	383,982 株	23年3月期	383,982 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	10,056,018 株	23年3月期1Q	10,054,917 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故及びその後の電力不足などの影響を受けて、今後の景気に関して不透明感を増しております。個人消費におきましても、商品の供給力不足については回復されつつあるものの、消費者の生活防衛意識による節志向・低価格志向は根強く、本格的な景気回復に向けては依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては「社会で活躍できる人づくりを実現できる最高の教育機関を目指す」というコーポレートビジョンを掲げ、成績向上への全力指導とともに、生徒自身が自らを意欲喚起できる独自の教育プログラムを推進することにより、競合他社との更なる差別化を図ってまいりました。

また、資格取得を中心とした社会人教育分野やeラーニング分野への進出等、教育をコア事業としながら、既存事業とのシナジー拡張や新分野進出を意図したM&Aや業務・資本提携など戦略面での強化も進めてまいりました。

以上の結果として、当第1四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高は30億56百万円(前年同期比6.6%増)、営業損失は5億52百万円(前年同期は営業損失4億54百万円)、経常損失は5億53百万円(前年同期は経常損失4億82百万円)、四半期純損失は3億44百万円(前年同期は四半期純損失6億60百万円)となりました。

なお、当社グループの収益構造は、新年度開始となる4月の生徒数が通期で最も少なく、その後増加していくことや夏・冬・春の季節講習会時に売上高が通常月以上に増加することに加え、固定費や広告宣伝費等の先行投資的費用が発生するため、季節的な収益変動要因があります。その結果、当第1四半期は営業損失を計上しておりますが、当初の計画に対しては順調に推移しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(学習塾事業)

昨今の経済情勢を踏まえ、当社主力分野である公立志向が更に高まる中、民間教育機関では類まれな独自の意欲喚起教育(セルフコーチプログラム)の導入と成績向上に柱をおいた指導による顧客満足度の向上、更には新規4校(内、独立校舎2校)の設備増強等の結果、第1四半期末生徒数は過去最高の20,292名(前年同期比5.8%増)となりました。また、株式会社市進ホールディングスとの提携コースとして個別対応型WEB授業(ウィングネット)、株式会社増進会出版社(Z会)との提携コースとして通学型及び在宅型WEB講座の拡充を行ったほか、新たな取組みとして、本物志向の中で理科教育の充実を図るため、大学との連携による工学部キャンパス内での先端科学実験教室を展開してまいりました。これらの結果、売上高は14億97百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

(高認・サポート校・通信制高校事業)

通信制高校ならびにサポート校の連携により一層のサービス充実を図りつつ、高卒認定試験制度の啓蒙・普及とインターネット利用ニーズの高まりに対応した在宅型WEB講座の展開、個別対応型WEB授業(ウィングネット)の全校導入を進めてまいりました。更に、社会人等の幅広い年齢層を対象にした介護福祉士・保育士等の資格講座の拡張を図るため、ウィザス専門学院を開講してまいりました。

生徒数に関しましては通信制高校生並びにサポート校生の増加は見られましたが、高卒認定コースの生徒数が減少し、第1四半期末生徒数は7,323名(前年同期比1.5%減)となり、売上高は11億23百万円(前年同期比4.1%減)となりました。

(その他)

その他におきましては主に、広告事業、キャリアサポート事業及び企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業に係る業績を計上しており、売上高は4億34百万円(前年同期比72.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて25.4%減少し、39億77百万円となりました。これは、現金及び預金が12億78百万円、授業料等未収入金が4億41百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.3%増加し、100億71百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億64百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて7.5%減少し、141億3百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.9%減少し、67億40百万円となりました。これは、未払法人税等が3億77百万円、前受金が3億35百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.2%増加し、34億1百万円となりました。これは、社債が1億83百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.6%減少し、101億42百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて9.7%減少し、39億61百万円となりました。これは、利益剰余金が4億44百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から変更いたしません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,089,556	2,811,305
受取手形及び売掛金	188,029	233,677
授業料等未収入金	503,645	62,597
有価証券	—	99,720
教材	63,201	68,335
商品及び製品	30,813	28,837
原材料及び貯蔵品	36,981	45,070
その他	443,306	643,488
貸倒引当金	△20,531	△15,048
流動資産合計	5,335,003	3,977,982
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,305,715	3,470,228
その他（純額）	1,494,071	1,518,471
有形固定資産合計	4,799,786	4,988,699
無形固定資産		
のれん	199,240	179,785
その他	593,271	543,688
無形固定資産合計	792,512	723,474
投資その他の資産		
投資有価証券	1,442,641	1,456,539
敷金及び保証金	1,443,354	1,437,552
その他	1,582,469	1,677,306
貸倒引当金	△211,649	△211,973
投資その他の資産合計	4,256,816	4,359,425
固定資産合計	9,849,115	10,071,598
繰延資産	61,849	54,033
資産合計	15,245,968	14,103,614

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	347,495	203,458
短期借入金	1,526,250	1,536,250
1年内返済予定の長期借入金	464,169	475,631
1年内償還予定の社債	250,800	310,400
未払法人税等	432,011	54,588
前受金	3,351,748	3,016,449
賞与引当金	216,381	90,836
その他	973,494	1,053,245
流動負債合計	7,562,350	6,740,859
固定負債		
社債	446,000	629,000
長期借入金	1,164,308	1,066,521
退職給付引当金	610,712	633,229
役員退職慰労引当金	352,553	357,160
資産除去債務	491,239	502,762
その他	231,754	212,750
固定負債合計	3,296,567	3,401,424
負債合計	10,858,917	10,142,283
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,299,375	1,299,375
資本剰余金	1,517,213	1,517,213
利益剰余金	2,215,923	1,771,107
自己株式	△145,759	△145,759
株主資本合計	4,886,752	4,441,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,145	133,688
土地再評価差額金	△731,978	△731,978
その他の包括利益累計額合計	△612,833	△598,290
新株予約権	49	49
少数株主持分	113,082	117,635
純資産合計	4,387,051	3,961,330
負債純資産合計	15,245,968	14,103,614

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）
売上高	2,868,216	3,056,090
売上原価	2,688,528	2,917,169
売上総利益	179,687	138,920
販売費及び一般管理費	634,184	691,838
営業損失（△）	△454,497	△552,917
営業外収益		
受取利息	1,626	1,646
受取配当金	5,720	7,631
持分法による投資利益	—	8,002
受取手数料	4,524	4,518
その他	3,020	6,771
営業外収益合計	14,891	28,570
営業外費用		
支払利息	9,861	12,071
貸倒引当金繰入額	1,853	—
開業費償却	7,816	7,816
持分法による投資損失	22,234	—
その他	1,376	9,538
営業外費用合計	43,142	29,426
経常損失（△）	△482,747	△553,774
特別利益		
貸倒引当金戻入額	787	—
負ののれん発生益	1,921	—
受取和解金	8,662	—
その他	1,032	—
特別利益合計	12,404	—
特別損失		
固定資産除却損	6,692	13,043
投資有価証券評価損	26,568	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	271,118	—
その他	26,877	—
特別損失合計	331,256	13,043
税金等調整前四半期純損失（△）	△801,599	△566,817
法人税、住民税及び事業税	37,357	48,004
法人税等調整額	△177,015	△284,682
法人税等合計	△139,657	△236,677
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△661,941	△330,139
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△1,089	14,052
四半期純損失（△）	△660,852	△344,192

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△661,941	△330,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,651	14,543
その他の包括利益合計	46,651	14,543
四半期包括利益	△615,290	△315,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△614,201	△329,649
少数株主に係る四半期包括利益	△1,089	14,052

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

- I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	高認・サポ ート校・通 信制高校事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,443,775	1,172,025	2,615,800	252,415	2,868,216	—	2,868,216
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	190,724	190,724	△190,724	—
計	1,443,775	1,172,025	2,615,800	443,139	3,058,939	△190,724	2,868,216
セグメント利益又は損失 (△)	△118,462	△15,517	△133,980	561	△133,419	△321,078	△454,497

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、キャリアサポート事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△321,078千円には、セグメント間取引消去5,476千円、のれん償却額△6,232千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△320,322千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	高認・サポ ート校・通 信制高校事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,497,477	1,123,622	2,621,099	434,991	3,056,090	—	3,056,090
セグメント間の内部売上 高又は振替高	200	—	200	205,685	205,886	△205,886	—
計	1,497,677	1,123,622	2,621,299	640,676	3,261,976	△205,886	3,056,090
セグメント利益又は損失 (△)	△224,905	△51,223	△276,129	35,384	△240,744	△312,173	△552,917

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、キャリアサポート事業及び企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△312,173千円には、セグメント間取引消去1,332千円、のれん償却額△18,395千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△295,110千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。